

# 令和6年第13回定例公安委員会会議録

開催日時 令和6年5月30日（木）午前11時10分～午後2時43分

開催場所 警察本部

## 第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時14分

2 出席者

公安委員会 衣笠委員長 勝部委員 久本委員

警察本部 野村警察本部長 森本警務部長 宮田首席監察官  
細田生活安全部長 前田刑事部長 山本交通部長  
樋口警備部長 濱本警察学校長 坂口情報通信部長  
吉村警務部参事官

（事務局等～岩城公安委員会補佐室長、総務課員）

3 議題事項

鳥取県留置施設視察委員会委員の任命（警務部）

### 警察本部

鳥取県留置施設視察委員会委員の任命については、鳥取県留置施設視察委員会委員の任命及び解任等の手続きに関する規程に基づき、警察本部長から公安委員会に対し、委員にふさわしい方を上申し、任命していただいている。

今年度の委員は、弁護士会、教育委員会から推薦いただいた2人の新任と、医師会、自治会連合会から推薦いただいた2人の再任の了解をいただいているところである。

留置施設視察委員会の位置付けについては、刑事収容施設及び被収容者等の処遇に関する法律に基づき、留置施設の適正な運営を図るため、留置業務管理者である警察署長に対して、意見を述べる機関であり、警察以外の第三者で構成されている。委員会は警察本部に置き、委員会からの意見や意見をを受けて警察が講じた措置については、毎年、県警察ホームページに公表している。

委員については、人格識見が高い方を任命することとされており、委員には地域住民のほか弁護士等の法律関係者、医師、地方公共団体の職員等を含めることが望ましいとの有識者からの意見があり、当県警察においても鳥取県留置施設視察委員会開設当時から、弁護士会、医師会、教育委員会又は地方公共団体、自治連合会から委員の推薦を受け、公安委員会に上申しているところである。委員の身分は、地方公務員法に規定される特別職の非常勤職員であり、守秘義務が課せられている。違反した場合には罰則がある。本県警察においては、鳥取県留置施設視察委員会条例により、委員の定数は4人とされており、任期は1年で、2回に限り再任が可能となっている。委員には、年に3回、各警察署留置施設を視察していただき、また、被留置者と面接をし、留置施設の実情を把握していただいた上で、留置業務管理者である警察署長に意見を上げていただいている。

#### 委員

委員については各組織から推薦していただいているということで、それぞれの委員の立場や視点があると思う。今年度は中部の委員がいないということなので、可能であれば次年度は、ある程度地域性を考慮して上申していただけたらと思う。

#### 委員

留置施設の透明性を確保するためには、外部の目が特に重要だと思う。医師等の専門家の方からの意見を参考とし、今後の対応を適切に願う。

#### 委員

各団体から、人格識見の高い方が上申されている。被留置者との面接等という大変な業務を行っていただくが、被留置者の人権侵害が行われないう、しっかりと対応をお願いしたい。

## 4 報告事項

- 第38回鳥取県警察白バイ安全運転競技大会の開催（交通部）
- 令和6年度日野川総合水防演習への参加（警備部）
- 6月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

### (1) 第38回鳥取県警察白バイ安全運転競技大会の開催（交通部）

#### 警察本部

鳥取県警察白バイ安全運転競技大会は、白バイ乗務員の運転能力を向上させ、受傷事故の絶無を期すとともに、士気の高揚を図り、道路交通の安全維持に資することを目的として開催している。

今年は、6月16日午前10時から、鳥取県自動車運転免許試験場において開

催する予定である。雨天の場合は中止となる。出場選手は、交通機動隊員9人を予定しており、女性2人、男性7人である。9人のうち、2人が新隊員となっている。競技種目は、バランス走行操縦競技及び傾斜走行操縦競技の2種目を実施することとしており、減点方式により採点を行い、上位3人を表彰することとしている。事前に、マスコミへの報道提供や県警察ホームページ、SNSによる情報発信を行い、できるだけ多くの方に観覧していただくことを考えている。また、例年は鳥取県自動車運転免許試験場の閉庁日に開催していたところ、今年は日曜日に開催し、免許更新に来られる方にも観覧していただくとともに、来場者に対し、交通安全に関することや採用募集の案内配布等の広報活動も行っていく。

#### 委員

これまで閉庁日に開催していたところ、視点を変えて開催されるということであり、大変良いと思う。効果的な広報等により、一般の方の交通安全意識を高めていただきたい。また、新隊員2人も参加されるとのことで、しっかりと指導をお願いしたい。

#### 委員

白バイが走行しているのを街中で見かけると、インパクトが強く、抑止力になる存在であると感じる。実施の目的にあるように、白バイ乗務員の運転技能向上、受傷事故の絶無、士気の高揚を図るために、訓練等の場を設けられており、大変良いと思う。

#### 委員

白バイは四輪に比べ、不安定な車両であるので、白バイ乗務員の運転技能を向上させ、受傷事故の絶無を期す目的の下、日頃から様々な訓練をされている発表の場として、修練した技術を披露していただきたい。

### (2) 令和6年度日野川総合水防演習への参加（警備部）

#### 警察本部

総合水防演習については、出水期を前に、国土交通省中国地方整備局、各自治体を主催とし、中国地方5県が持ち回りで開催している。令和2年から令和4年までは、コロナ禍で中止となっていたところ、当県では、平成29年以来、7年ぶりの自県開催となり、本年5月25日に米子市古豊千地内の日野川右岸河川敷で実施された。訓練参加者は、鳥取県西部地区9市町村の消防団、県警察、消防、自衛隊等の約1,000人であった。県警察からは、警備部総括参事官以下21人が参加した。県警察による訓練内容については、オフロードバイクによる被災地の調査及び情報収集ということで、広域緊急援助隊に指名されている交通機動隊員がオフロードバイクを使用し、河川敷の悪路を走行し、情報収集を行う訓練

を実施した。また、中州に孤立した者の救出救助については、機動隊員が中心となり、救命索発射装置を使用し、中州に取り残された者を救助する訓練を実施した。また、本年4月21日に実施した米子市防災訓練における、米子市東八幡地区で米子警察署員が住民の避難誘導を行った際の映像を、大型ビジョンで放映した。

今回の訓練での反省と教訓は、救命索発射装置を使用しての救出訓練において、強風により目的地点に到達せず、時間を要したことであった。現場の気象条件等、様々なことを想定しながら訓練を重ね、技術の向上に努めていきたい。引き続き、警備部全体でスキルアップを図っていく。

#### 委員

自然災害が頻発していることから、今回の水防演習に限らず、県警察独自の訓練も繰り返し実施し、分析や予測をしながら、災害に備えていただきたい。

#### 委員

激甚災害が年々増えていることから、可能な限り訓練を実施し、備えていただけると、県民は安心して生活ができる。

#### 委員

大規模な災害が万が一ではなくなってきたおり、昨年も佐治川で大きな災害が発生した。出水期が近づいてくると、不安に思っておられる県民が多いのではないかと感じる。そのような中で、今回の訓練には意義があったと思う。

### (3) 6月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

#### 警察本部

6月中の入校関係は、初任科第99期・第100期、初任補修科第46期の採用時教養を引き続き行い、専科は、術科指導者専科、災害警備専科、取調べ技能専科、職務質問専科、検視実務専科を実施する。

6月中の行事・訓練関係等について、初任科生は、初任科第99期の中間試験を6月3日と4日に実施する。また、6月10日から12日にかけて、情報通信部と連携し、無線従事者養成講習を実施し、最終日に試験を行う予定である。部外講習として、日本海新聞社に依頼し、「新社会人のための新聞講座」を実施していただく。新聞を読むことで、読む力・書く力を高め、知識や情報を得るとともに、コミュニケーション能力の向上を図りたい。また、交番配置後の広報紙作成にも役立てたい。

初任補修科生については、鑑識教養及び初級検定、サイバー事案対処能力検定初級、基礎的捜査書類作成能力検定の3つの検定を受検予定である。そのほか、郡家警察署長による訓育を実施する予定である。

5月中の行事・訓練等の状況については、初任科生に対し、5月17日に拳銃貸与式を実施した。拳銃の貸与にあたり、適正な使用のための知識・技術の向上、武器としての危険性について、取扱いにあたり緊張感を持つこと、拳銃を携帯することの責任の重さについて教養を実施した。

#### 委員

入校してから早い段階で拳銃が貸与されているように感じるので、拳銃の危険性について、繰り返し教養をお願いする。警察以外の方から学ぶことは多いと感じているので、今後も部外講師の活用をお願いする。

学校という現場は、年々多様化してきていると思うが、県警察本部の中でしっかりサポートし、環境を整えながら、学生を育てていただきたい。

#### 委員

能力を向上させるため、しっかりと試験を受けさせていただきたい。最近は、SNSから情報を得る若者が多いように感じるが、SNSには裏の取れない情報があふれており、真に受けることは危険な場合がある。部外の方による講習のほか、テレビやニュース、新聞等により幅広く情報を得ることが必要であるので、しっかりと教養していただきたい。拳銃貸与式が行われたということであるが、拳銃の所持にあたり、警察官としての自覚をしっかりと持っていただくことが重要だと考えている。

#### 委員

警察学校に限らず、学校という現場では、以前よりも学校長の役割が非常に重要となってきた。是非、学校長には、豊富な知識経験、大きな愛で、指導と見守りをお願いしたい。言うまでもなく、将来の県警察を担っていく学生たちであるので、よろしく願います。

## 第2 その他の公安委員会活動

### 1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取4件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

### 2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

鳥取県留置施設視察委員会委員の任命

4 報告事項

機動隊員の剣道経験について剣道月刊誌に掲載

5 決裁

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。